

平成26年度

若手研究者への研究奨励

平成25年度 研究奨励の会

笹川科学研究助成募集

21世紀は大きな価値基準の転換と、そのもとになる哲学の転換期であり、直面する諸課題を克服し今後の展望を拓いていくために、科学・技術は重要な鍵を握っています。

これからの科学・技術で重視すべきことは、新たなものを生み出し活用する「新しい知の創造」であり、それには、これまで必ずしも十分な活躍の機会を与えられなかった多様な人材が能力を発揮できるようにする必要があります。

よって、本制度は、新規性、独創性または萌芽性を持ち、発想や着想に意外性をもった研究に視点をあて、優れているが他からの助成が受け難い研究を掘り起こすことにより、科学・技術研究の次代を担う人材を育成し、科学・技術研究の振興を図ることを目的としています。

学術研究部門

助成対象となる研究

A 一般科学研究

人文・社会科学および自然科学（医学を除く）に関する研究を対象とします。

B 海洋・船舶科学研究

「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」の研究で、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究（人文・社会科学を含む）を対象とします。

募集対象者

A 一般科学研究

平成26年4月1日現在、大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する者であって、35歳以下の者

B 海洋・船舶科学研究

平成26年4月1日現在、大学院生あるいは所属機関等で研究活動に従事する（常勤・非常勤は問わず）者であって、35歳以下の者

研究計画と助成額

研究計画は、単年度（平成26年4月1日から平成27年2月10日まで）内に達成し成果をとりまとめられるものとし、助成額は、1研究計画100万円を限度とし、研究の実施に直接必要な経費を審査します。

実践研究部門

助成対象となる研究

A 実践研究

博物館や学校、NPOなどに所属している者が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて事例研究や実証実験を行い、その結果を検証報告としてまとめ、社会に公開するまでのプロセスを実践研究の対象とします。

B 学芸員・司書等が行う調査・研究

学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究を対象とします。

募集対象者（AB共通）

教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等の専門的立場にある者などで、特に年齢は問いません。

研究計画と助成額

研究計画は、「4月1日から翌2月10日」の研究期間を年度の単位とし、単年度または複数年度（継続で最大3年）で達成し成果をとりまとめられるものとし、助成額は、年間50万円を限度とします。ただし、2年継続研究は総額80万円、3年継続研究は総額110万円を上限とします。

募集期間

- 1 学術研究部門 : 平成25年10月1日から平成25年10月15日まで
- 2 実践研究部門 : 平成25年11月1日から平成25年11月15日まで

必着

応募方法

詳しくは本会Webサイトにて「募集要項」「申請書記入の手引き」をご覧の上、ご応募下さい。
応募は、所定の申請書を使用して下さい。申請する際は、本会のWebサイトをご確認下さい。

 日本科学協会
The Japan Science Society

笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階 TEL 03-6229-5365 FAX 03-6229-5369

E-mail : josei@jss.or.jp URL : <http://www.jss.or.jp>